生誕120年・没後30年

反町茂雄文庫展

伝説の古典籍商がふるさと長岡に贈った郷土資料



自宅書斎にて（昭和59年）『弘文荘 反町茂雄氏の人と仕事』より

令和3年12月4日（土）－12月19日（日）

長岡市立中央図書館　2階 美術センター

9:30－17:00　月曜休館

入場無料

主催／長岡市　長岡市教育委員会（主管 長岡市立中央図書館）

関連イベント

いずれも会場は講堂　定員80人

講演会　要申込

「新潟県の至宝 越後文書宝翰集の世界」

12/5(日)14:00～15:30

講師：前嶋 敏氏（新潟県立歴史博物館 専門研究員）

新潟県所蔵の国指定重要文化財「越後文書宝翰集」は、かつて反町茂雄が発掘に関わった古文書群です。

申込：11/11(木)～ 中央図書館で受付

オンライン座談会　要申込

「古書肆弘文荘 反町茂雄さんの想い出」

12/12(日) 14:00～15:30

登壇者：八木壮一氏（八木書店）、八木乾二氏（八木書店）
八鍬光晴氏（浅草御蔵前書房）、八木正自氏（安土堂書店）

反町茂雄から薫陶を受けた東京老舗古書店主の皆様から貴重なお話を伺います。

申込：11/11(木)～ 中央図書館で受付

※登壇者はオンライン参加のため来場されません。

要申込

長岡市史双書を読む会

12/7(火)・12/14(火)
14:00～15:30

講師：文書資料室職員

『古書肆弘文荘・反町茂雄と長岡』を読み解きます。

申込：11/12(金)～ 文書資料室
（TEL 0258-36-7832）で受付

申込不要

ドキュメンタリー映画会

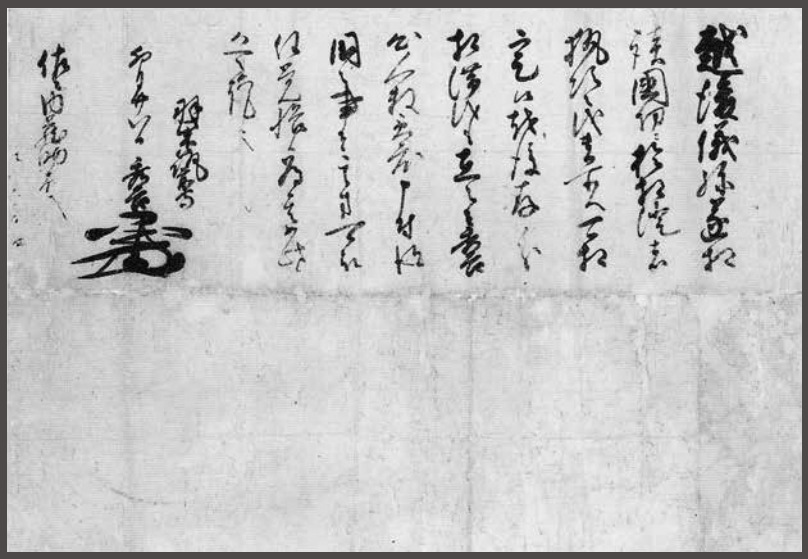
「疎開した40万冊の図書」

12/11(土) 14:00～15:50

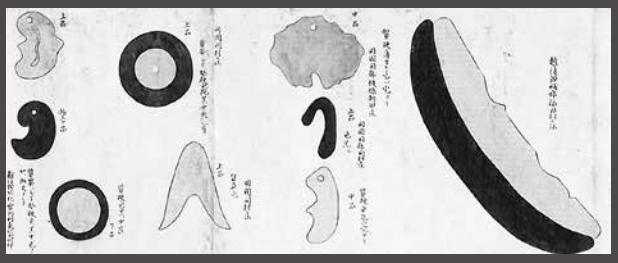
戦時中、都立日比谷図書館が中心となって行った本の疎開事業。反町茂雄は民間の貴重図書買上に奔走しました。

長岡市立中央図書館　〒940-0041 新潟県長岡市学校町1-2-2　TEL 0258-32-0658

詳しくはホームページをご覧ください



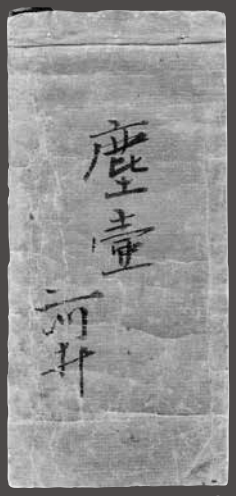
①



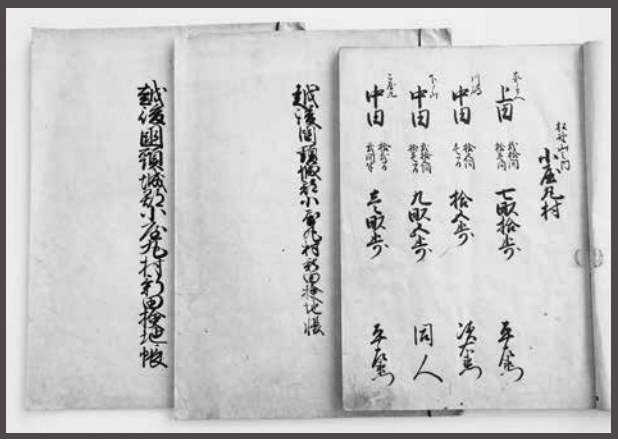
②



③



④



⑤

①羽柴秀吉書状　②上古石器図巻（部分）　③『北越雪譜』初編　天保八年刊（部分）
④河井継之助の旅日記「塵壺」表紙　⑤越後国頸城郡小屋丸村検地帳

このたび、長岡市立図書館の恩人である 反町茂雄氏の生誕120年・没後30年を記念し、市の宝「反町茂雄文庫」を一挙公開いたします。

長岡の神田に生まれた反町茂雄（1901-1991）は、９歳で東京に転居。東京帝国大学を卒業後古書業界に入り、古書肆弘文荘を開業。店舗を持たず、目録で販売しました。たゆまぬ努力で勉学に励み、高い見識で国宝・重要文化財級の古典籍や古文書を発掘・評価し、国内外の研究者や図書館等に納めて文化向上に貢献した人物です。91年の生涯をその道一筋で貫き、古書業界の発展と後進の育成にも尽力しました。

反町茂雄は市立図書館の蔵書充実に協力するため、昭和51年から貴重な郷土資料と多額の購入資金の寄附を重ね、それにより「反町茂雄文庫」が設立されました。総数は約5,800点を数え、内容は、戦国武将の書状等古文書をはじめ、戊辰戦争や長岡藩関連の歴史資料、また先人の文芸作品、郷土史等、幅広いジャンルに及んでいます。

本展が、寄贈資料に込められた反町茂雄のふるさとへの思いをあらためて見直す機会になれば幸いです。

関連図書を販売します！



●新刊 長岡市史双書№60
『古書肆弘文荘・反町茂雄と長岡』1,500円（税込）

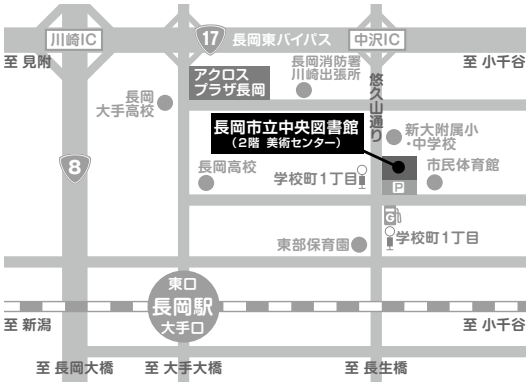
●『反町茂雄文庫目録　第一集　越佐文人の軌跡』
『反町茂雄文庫目録　第二集　越佐郷村の古文書』
それぞれ大特価 500円（税込）

※若干の経年劣化があります。あらかじめご了承下さい。

関連イベントの情報は表面をご覧ください。

お願い

- 体調がすぐれない方、発熱や風邪の症状がある方はご来館をご遠慮ください。
- マスク着用でご来館ください。
- 入場時の検温・手指消毒にご協力ください。
- 会場内での会話はなるべく控え、他の方と距離を保ってご鑑賞ください。
- 図書館の休館日・開館時間は、今後の社会状況により変更になる場合があります。最新情報は、図書館ホームページ等に掲載します。



電車▶ ＪＲ長岡駅より徒歩15分
バス▶ 長岡駅東口から悠久山線２番線「学校町１丁目」下車
車 ▶ 中之島見附ＩＣより20分
（長岡東バイパス中沢ＩＣ下車、長岡駅方面へ）
●長岡ＩＣより20分 ●長岡南越路ＩＣより20分

長岡市立中央図書館
〒940−0041 新潟県長岡市学校町1−2−2
TEL■0258−32−0658 FAX■0258−32−0664
URL■https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp